

結核の症状について説明できますか？

結核は、学生1万人あたり年に1人が発症するという報告がある。したがって、熊本大学で、毎年1名の結核の発症があってもおかしくはないのだが、実際は稀にしか認められない（全体で数年に1名）。2週間以上微熱・咳・喀痰が持続する場合、一応結核も考慮することになる。もちろん、風邪をこじらせた時にも同じ症状になるので、過度に心配する必要はないが、発汗・体重減少・食欲不振・倦怠感まで加われば積極的に疑う必要がある。

早期に発見し早期に治療ができるように健康診断（胸部X線）を受けること、また普段から抵抗力をつけるために体調の管理を行っておくことが重要である。

結核の治療は、抗結核薬というものを使用し、この抗結核薬を飲み続ければ治る病気だが、少なくとも6～9カ月の内服が必要である。ただし、結核の診断が遅ければ、患者自身の症状が重症化して治りにくくなるばかりでなく、重症化して死亡することもある。また、周囲の家族や同僚、友人にも感染させる危険が増す。

2週間以上微熱・咳・喀痰が持続する場合は、若いとか体力があるからと安心せずに検査を受けに病院へ行きましょう。